

平成26年度

事業報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター

平成26年度 事業報告

本年度は、前年度に実施した施設のリニューアルオープンの効果に加え、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受けた各種競技種目の開催会場の見直し議論や2016年1月のアジア自転車競技選手権大会（トラックレース）が本センターの伊豆ベロドロームで開催されることなど、スポーツ関連の豊富な話題がニュース報道されたことから、本格的な自転車競技施設を所有している本センターにも注目が集まるところとなった。

また、自転車競技を題材にした週刊少年漫画・TVアニメの「弱虫ペダル」人気が急上昇し、この読者、特に20歳代の女性客がロードバイクで本センターに来場する姿が目立つなど、これまでは少数であった客層の増加も目立った1年と言える。

このような状況下、幅広い層に注目いただける「自転車を中心とした生涯スポーツ施設づくり」を目指し、より満足度を高めるサービスの提供に一丸となって取り組んだ結果、年度当初からの累積入場者数は対前年比プラスで推移し、一般有料入場者は平成21年度以来5年ぶりに15万人の大台を達成することができた。その一方で、5月末のサイクル温泉ゆーサロンの閉鎖を皮切りとして、財政の健全化に向けた各種合理化の施策に積極的に取り組み、収入の確保と支出の抑制を進めた結果、これまでの資金収支ベースの経常的赤字は大幅に改善され、今後における単年度収支の均衡確保の見通しを立てることができた。

本年度の主要な施策は、次のとおりである。

- 誘客に向けた普及イベントとPR活動の強化
- 自転車プログラム等の充実
- 合理化の推進
- 地域行政との協調

なお、事業の実施に際し、自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業、青少年の健やかな成長を育む活動、競輪・オートレースの補助事業により建築整備された施設の補修の各事業については、それぞれ公益財団法人JKAから公益事業資金の補助を受けた。

1. サイクルスポート施設の運営等に関する事業

(1) 各種施設の提供

5キロサーキット、MTBコース及び伊豆ペロドローム等の自転車競技施設並びに室内フットサル場、体育館の屋内スポーツ施設並びに野外活動施設のDAYキャンプ場、自転車競技大会の参加者及び合宿者の宿泊場所である宿泊施設サitel等の諸施設を広く一般に提供し、サイクルスポーツを中心とする生涯スポーツの普及に努めた。

特に、有効活用に努めてきた伊豆ペロドロームにおいては、国際大会が2回及びインターカレッジの開催により、同大会に係る合宿利用を含め大会及び合宿利用においては、対前年比118.9%と前年実績を上回ることができた。

本事業年度における伊豆ペロドロームの利用者数は、次のとおりである。

[伊豆ペロドローム利用者数]

(単位：人)

| 利用区分 | 前年度 | 本年度 | 増減 | 前年対比 |
|-------|-------|-------|------|--------|
| 一般利用 | 104 | 49 | ▲55 | 47.1% |
| 大会利用 | 2,914 | 3,333 | 419 | 114.4% |
| 合宿利用 | 1,366 | 1,757 | 391 | 128.6% |
| 訓練利用 | 3,267 | 3,074 | ▲193 | 94.1% |
| その他利用 | 1,517 | 1,344 | ▲173 | 88.6% |
| 合計 | 9,168 | 9,557 | 389 | 104.2% |

※ペロドロームにおける大会開催数：25件（前年度25件）

[静岡県立伊豆総合高等学校の体育科目選択授業]

- ・実施期間：平成26年10月1日～平成27年2月18日
- ・生徒数：2年生 7人、3年生 14人、18人（2グループ）
- ・実習回数：15回（各グループ5回実施） 延べ 185人

(2) その他の事業

このほか、自転車競技施設及びトレーニング施設の貸与、各種自転車及び関連機材の貸出し、各種自転車の展示等の事業を行った。

(3) 入場者及び施設利用者

本事業年度上期は、各地において夏の前半までは平年と比べて気温の高い晴れの日が多かったが、夏の後半から9月にかけては気温が低く、2つの台風（平成26年8月豪雨）により長期間わたり広範囲で大雨に見舞われた。

本センターの入場者は、4月から好調なスタートとなり、5月はGW後半で約1,300人、その他の土日においても約2,800人前年を上回り、対前年で5,436人増の29,423人（対前年比122.7%）となった。

8月はこの時期集客力の高い流水プールの営業に期待されたが、気温の低下により前年度営業日数49日15,532人に対し、本年度40日10,509人(対前年比67.7%)と大きな影響を受けた。しかし、プール目的以外の利用者数の増加により、一般入場者で約3,300人、大会・合宿利用者で約1,500人前年を上回り、対前年で4,855人増の35,722人(対前年比115.7%)となった。

9月は前月からの気温の低下が続き、客足が遠のくかと懸念されたが、週末の土日で約1,500人、平日においても約1,500人前年を上回り、対前年で3,155人増の11,686人(対前年比137.0%)となった。

よって、上期総入場者数は112,547人となり、対前年比115.4%と前年度実績を上回る結果であった。

下期については、前年度は相次ぐ台風の襲来と2月の大雪により、一部設備の損壊と長期に及ぶ営業休止を余儀なくされ、1万人を超える入場者の損失を被ったが、今年度は比較的穏やかで、9月後半から10月は気温が高い晴れの日が多く、また11月以降は気温が低い雨の日が多かったものの、台風の上陸や降雪による目立った被害はなかった。入場者数においては、上期からの増加傾向維持し、1月と3月を除くすべての月で前年を上回る結果となった。

よって、下期総入場者数は62,763人、対前年比109.4%と上期に続き前年度実績を上回り、本事業年度における総入場者数は、175,310人、対前年比113.1%であった。

なお、本事業年度の詳細は(別表1-1)月別入場者、(別表1-2)入場者内訳及び(別表1-3)施設利用者内訳のとおりである。

2. 自転車競技並びにサイクルスポーツの普及奨励

(1) アジアサイクリングセンター(CCC修善寺)の運営

ア. 国内トレーニングキャンプ

国際自転車競技連合(UCI)におけるワールドサイクリングセンター(WCC)構想の下、オリンピック出場を目指す若しくはそれに準ずるアジア各国の自転車競技連盟に推薦を受けた将来有望なトラック競技者をCCC修善寺に集め訓練研修を行った。

本事業年度における開催は、次のとおりである。

[第1回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：平成26年6月27日～平成26年7月10日

参加者：2ヵ国—4名(選手4名)

香港チャイナ 2名(選手 2名)

タイ王国 2名(選手 2名)

当初、カザフスタン並びにインドからも参加オファーがあったが、経済的理由によりキャンセルとなり、2カ国から4名の選手を向かい入れ、第1回トレーニングキャンプを行った。

参加者は全員ジュニア選手で、修善寺でのトレーニングは初めてであったが、トレーニングに対する真面目でひたむきな姿勢により、それぞれ自己新記録や期中に参加した寛仁親王記念ワールドメモリアルグランプリでは全員がメダルを獲得し、ジャパントラックカップにおいても香港チャイナ選手1名がメダルを獲得することができた。アジア地域での彼らの今後の活躍を期待できるキャンプであった。

[第2回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：平成26年12月4日～平成26年12月18日

参加者：5カ国 — 10名（選手 10名）

チャイニーズタイペイ 3名（選手 3名）

香港チャイナ 1名（選手 1名）

大韓民国 2名（選手 2名）

シンガポール 1名（選手 1名）

タイ王国 3名（選手 3名）

当初、ウズベキスタンからも参加オファーがあったが、経済的理由によりキャンセルとなり、5カ国から10名の選手を向かい入れ、第2回トレーニングキャンプを行った。

参加者はシンガポール選手以外全てジュニア・ユースの若いアスリートで、予想以上の低温であったコンディションに苦慮していたが、体調管理指導も行うことで順調にカリキュラムを消化することができた。

今回はコーチの帯同もなく、特に若手の選手にはフィジカル的にはもちろんのこと、メンタル面でもかなりのストレスがあったと感じ、後半にかなりの疲労度が見えたが、全員がベストを尽くし、日程を終了することができた。

イ. 海外トレーニングキャンプ

A C Cアジア自転車競技連合の協力のもと、資金面で来日が困難なアジア各国への便宜を図るため、C C C修善寺のコーチングスタッフを地理的にも治安的にも環境に優れたタイ王国へ派遣し、自転車競技者及び指導者を対象にしたトレーニングキャンプを実施し、自転車競技新興国に対する競技普及のアプローチを行った。

本事業年度における開催は、次のとおりである。

開催期間：平成26年9月30日～平成26年10月9日

開催場所：タイ王国・バンコク ファアマーク自転車競技場

参加者：8カ国 — 33名（選手24名、コーチ9名）

| | |
|------------|-------------------|
| チャイニーズタイペイ | 3名（選手 3名） |
| 香港チャイナ | 2名（選手 2名） |
| 大韓民国 | 3名（選手 2名、コーチ 1名） |
| マカオチャイナ | 3名（選手 2名、コーチ 1名） |
| マレーシア | 10名（選手 8名、コーチ 2名） |
| シンガポール | 1名（選手 1名） |
| タイ王国 | 8名（選手 4名、コーチ 4名） |
| ウズベキスタン | 3名（選手 2名、コーチ 1名） |

今回は初参加となるウズベキスタン並びにマカオチャイナを含む8つの国と地域から24名の選手と9名のコーチを向かい入れ、トレーニングキャンプを行った。

トレーニングの効果としては、キャンプ直後に開催された ACC Track Asia Cup 2014 において、チャイニーズタイペイ、香港チャイナ及び初参加のウズベキスタン選手がメダルを獲得した。なお、現地では直接担当者に今後の利用を依頼するとともに、CCC修善寺のスタッフがコーチの帯同しない国々のジュニア選手たちをサポートの様子をfacebookなどの SNS(ソーシャルネットワークシステム)を通じてリアルタイムに全世界へと PR 発信することができた。

ウ. ガールズサマーキャンプへの協力

公益財団法人 J K A 及び公益財団法人日本自転車競技連盟が主催する「ガールズサマーキャンプ 2014」に指導協力を行った。

協力内容は、次のとおりである。

開催期間：平成26年8月10日～平成26年8月15日

開催場所：本センター400メートルピスト、伊豆ベロドローム

指導対象：Bグループ — 25名（中学生、高校生、自転車競技ビギナー）

指導スタッフ：5名

女性アスリートで、なおかつビギナーが多く、更には年齢幅も大きい今回は、まず自転車競技を楽しんで成長できるような指導を心掛ける一方で、効率的な乗車フォーム、ペダリング、インターバルトレーニングを中心に身体能力の向上に努めた。

(2) 自転車競技大会及び合宿の開催と受入れ

ア. 自転車競技大会

5キロサーキット、伊豆ベロドローム、MTBコース、BMXコースを始めとする本センター所有施設を活用し、各種自転車競技大会を企画・開催した。また、他団体が主催する様々な自転車競技大会を招致し、その開催にも協力した。

[主な主催大会]

- ・CSCクリテリウムシリーズ（全6戦）
- ・Challenge The Izu Velodrome（全5戦）
- ・BMXチャッキーカップ（全2戦）
- ・CSC2時間耐久MTBレース
- ・第17回CSC5時間耐久チームサイクルロードレース大会
- ・CSCトラック自転車競技大会2014夏（KID'S～マスターズ）
- ・CSCトラック自転車競技大会2014秋
- ・2014 A&F MTB CUP 24h in サイクルスポーツセンター

※平成26年度主催大会：18件 1,652名（前年度18件 1,528名）

[他団体が開催した主な大会]

- ・第39回チャレンジサイクルロードレース大会
- ・第17回ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ
- ・第48回JBCF東日本ロードクラシック
- ・寛仁親王記念ワールドメモリアルグランプリ
- ・第55回全日本学生選手権トラック自転車競技大会
- ・JAPAN TRACK CUP I・II
- ・第27回全日本MTB選手権大会
- ・2014年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会
- ・第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会
- ・2014伊豆BMX国際
- ・2014ワンデイ・トラックレースウインターシリーズ（全4戦）
- ・MTB 2015 CSC Classic

※平成26年度他団体大会：44件 6,785名（前年度44件 4,609名）

なお、詳細は（別表2）自転車競技大会一覧のとおりである。

イ. 自転車競技合宿

ナショナルチームを始め、大学や高等学校の自転車競技部、各種自転車競技団体等、延べ292団体5,461名（前年度158団体1,817名）の自転車競技者を誘致し、伊豆ベロドロームほか各自転車競技施設を提供した。

(3) 伊豆サイクルスポーツクラブの運営

本センターの施設・設備とスタッフを活用して、伊豆サイクルスポーツクラブの運営を行った。

同クラブは、性別、年齢、目的及び自転車競技経験の有無を問わず、トップ競技者を目指す者のほか、キッズクラスからマスターズ世代に至るまで幅広い層を対象に、原則として、トラック競技は月4回土曜日、MTB競技は月2回土曜日、BMX競技は月2回日曜日に活動した。

なお、伊豆サイクルスポーツクラブは、伊豆市スポーツ少年団への登録を済ませ、地元自治体との連携を密にしている。

[会 員 数]

平成25年度： 95名（トラック66名、MTB19名、BMX10名）

平成26年度：130名（トラック62名、MTB19名、BMX49名）

(4) 自転車競技体験キャンプの開催

自転車競技やサイクルスポーツの楽しさ等、自転車の魅力を充分に感じて頂き、自転車を生涯スポーツのアイテムとして利用促進するとともに、自転車競技愛好者の底辺拡大を図るため、トラック競技及びMTB競技の宿泊型キャンプを開催した。

- ・MTBサマーキャンプ ※2泊3日（小学生、中学生を対象）
- ・トラックウインターキャンプ ※1泊2日（20歳以上を対象）
- ・トラックスプリングキャンプ ※1泊2日（小学生、中学生を対象）

なお、詳細は（別表3）自転車スクール及び自転車キャンプ開催内容一覧のとおりである。

(5) 自転車スクールの開催

自転車愛好者の底辺拡大を図るため、自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の乗り方教室を5回、小学生を対象にした日帰りの乗り方教室を場内において5回、立川競輪場において1回開催した。

なお、詳細は（別表3）自転車スクール及び自転車キャンプ開催内容一覧のとおりである。

(6) 各種イベントの開催

ア. 自転車普及イベント

間近で自転車の魅力や楽しさが満喫できるような自転車の国ならではの自転車普及イベントを開催し、自転車愛好者の底辺拡大に努めた。

- ・第11回CSC3時間耐久一輪車レース大会
- ・第25回新春静岡県一輪車競技大会
- ・DIRT PARTY（BMXと音楽のコラボイベント）
- ・第11回紅葉サイクリング
- ・第4回STRIDER Mini Mini チャッキーカップ
- ・2014FMIS CUP STRIDER シリーズ戦（全8戦）

なお、詳細は（別表4）イベント開催内容一覧のとおりである。

イ. スポーツイベント

自然環境に恵まれた本センターの各種訓練施設等を会場にして、スポーツイベントを開催し、スポーツへの参加機会を提供するとともに、サイクルスポーツの存在を認知させるよう努めた。

- ・第17回CSC春の山菜採りウォーキング
- ・体育の日「健康イベント」
- ・CSCフットサル夏季リーグ
- ・フットサル 1Dayナイトリーグ（全3戦）
- ・フットサル 山のカップ ビギナーズ The 9th

なお、詳細は（別表4）イベント開催内容一覧のとおりである。

（7）自転車プログラムによる誘致活動

オリンピックの自転車競技4種目が全て体験可能な本センターの特色を首都圏の旅行代理店に提案していたところ、ツアーの開催が決定し、平成26年5月に「サイクリングバスツアー（自転車4種目体験コース）」として、19名（大人18名、小人1名）が来場した。

（8）自転車競技の地域普及啓発活動

本センターに在籍する自転車競技の公認コーチ・インストラクター及びプロライダーを活用し、トラック、MTB、BMXの各競技体験プログラムを地元住民へ提供することにより、自転車競技と触れ合う機会を設け、伊豆地域における自転車競技の普及啓発に努めた。

このほか、静岡県立伊豆総合高等学校の体育科目選択授業の場として伊豆ベロドロームを提供し、トラック競技の技術指導に関する協力を行った。

なお、詳細は（別表5）自転車競技体験プログラム一覧のとおりである。

（9）ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点の活用

NTC自転車競技強化拠点施設として、文部科学省との委託契約に基づき、ナショナルチームの強化やジュニア競技者の計画的な育成を行うための施設の優先・専有利用及びトレーニング施設の競技条件の向上、科学的なトレーニングを行うための医科学サポート並びに情報ネットワークの構築等、競技力向上のための施設活用事業を行った。

また、パラリンピック競技におけるNTC競技別強化拠点施設指定の公募（平成27年1月22日公示）に対し申請を行ったところ、平成27年2月27日付で文部科学省から指定を受けたことから、パラリンピック競技についても文部科学省との委託契約に基づき基盤構築事業を行った。

3. サイクルスポーツに必要な自転車等に関する研究

自転車施設にレンタサイクルとして配備した各種市販自転車の利用後の評価に関してアンケート調査を行うとともに、日常の自転車利用の機会や目的等についてもデータを収集した。

4. サイクルスポーツ施設に付帯する施設等の運営に関する事業

(1) 各種施設の提供

“安全性の確保”と“満足度の向上”を念頭に置き、2キロサーキット、おもしろ自転車、サイクルモノレール等の自転車関連施設及びサイクルコースター、スカイローラーを始めとする遊戯的施設等を一般へ提供した。また、リニューアルオープン後2年目を迎えたアスレチック迷路においては、利用者の増員を図るため「スタンプラリープレゼント」を企画・実施して、施設の利用促進に努めた。

(2) その他の事業

シーズン毎の集客イベントを開催したほか、5キロサーキットコースを活用した各自動車メーカーによるPRイベントや、自転車関連施設を素材とした魅力的なコンテンツを活用した撮影など、収益の増大を目的とした施設の貸与等の事業を積極的に行った。

5. 飲食等付随するサービス事業

飲食及び物品販売事業については、顧客満足度の向上に心掛け、人気の「弱虫ペダル関連グッズ」の販売や新たな商品開発に取り組むとともに、販売価格や食材等仕入れの見直しを行い、収益の獲得に努めた。

6. 施設の改修・整備

前年度に実施したリニューアル事業による新規施設の導入、既存施設の大規模な改修に引き続き、今年度は5キロサーキット、BMXコース、333メートルピストの自転車競技施設の補修工事、流水プールの改修、ストライダーパーク休憩所の設置等、利用環境の向上を目的とした工事を実施した。

7. 広報及び誘致活動

パソコンや携帯電話の普及が著しい現況に鑑み、様々な情報を簡単に不特定多数の者へ到達させることができるなど、最も高い費用対効果が期待できる“インターネット”をフルに活用するとともに、閲覧する方にわかりやすいホームページのデザインへリニューアルした。また、他のホームページとのリンク・情報メールの発信を積極的に行い、営業メニュー・自転車競技大会・イベント・各種スクール・季節毎の見所・各施設の営業状況等の情報をタイムリーに発信するよう努めた。

併せて、自転車競技大会やイベントの開催時には、雑誌・チラシなどを媒体とした広告宣伝を実施したほか、各種報道機関や地元行政機関に対して、積極的な情報提供を行い、パブリシティ活動を推進した。

この中で、シーズン毎の集客イベントについては、有料広告としてテレビスポット114本のほか、県内及び首都圏新聞3紙へ告知した。

また、パブリシティとして、各メディアに対し積極的にリリースし、テレビにおいては8局13回、新聞においては11紙に69回掲載された。

このほか、首都圏に対しては、経験豊富な専属の担当者を配し、旅行代理店並びに公官庁・大手企業・学校等への販売促進活動を展開する一方、地元に対しては、伊豆半島一円の宿泊施設や幼稚園及び保育園へ定期的に案内資料を提供し、誘客促進を図った結果、82件10,282名の団体予約を受け、一般入場者9,064名及びスポーツ合宿等のサイテル宿泊者6,173名を獲得した。

なお、詳細は(別表6)広報宣伝活動内容一覧、(別表7)販売促進活動内容一覧のとおりである。

8. その他

(1) 合理化の推進

本センターの財政安定化に向けた取り組みにおいて、次のとおり合理化策を実施した。

①不採算施設の廃業による合理化

- ・「サイクル温泉ゆーサロン」の廃止及び「ウエイトトレーニング場」の一般営業終了 ※平成26年6月
- ・派遣従業員(2名)の契約解除 ※平成26年8月

②財務業務の合理化(業務分散化による定数削減)

- ・派遣従業員(1名)の契約解除 ※平成26年8月

③総務業務の合理化(一部業務の外部委託による定数削減)

- ・係員(1名)の異動 ※平成26年10月
- ・ネットバンキングによる経費削減 ※平成27年1月

④組織機構の改正

- ・管理部門の縮小(総務課と財務課を統合) ※平成26年10月
- ・施設運営部門の整理(競技振興係指導担当を普及事業部に吸収)

※平成26年10月

⑤就労条件の見直し(一部業務の交代勤務制を導入)

- ・室内フットサル場及び宿泊施設サイテルフロント業務について交代勤務制を採用

※平成26年7月

⑥報酬等の見直し

- ・会長報酬額の減額 ※平成26年4月
- ・常勤役員退職金規程の改正(支給率引下げ) ※平成27年4月施行

(2) 各種資格取得の奨励・支援

本センターの事業運営に必要とされる各種資格については、担当業務を問わず、その取得を積極的に奨励し、本事業年度においては、日本トレーニング協会・トレーニング指導者に2名、日本マウンテンバイク協会・公認インストラクターに1名が合格した。

なお、その詳細は(別表9)職員研修内容一覧のとおりである。

(3) 地域行政との協調

ア. 伊豆市事業への協力

“伊豆をサイクルスポーツ・サイクルレジャーのメッカに！”を合言葉に、伊豆市と自転車関係団体とが「サイクルメッカ伊豆推進協議会」を組織し、平成26年5月にサイクルフェスティバル伊豆2014を開催、また11月には伊豆半島1周サイクリングモニターツアーを実施した。

イ. 静岡県事業への協力

地域資源の活用とスポーツをキーワードにした新たな事業の創出による地域経済の発展を目的に、地元企業と行政とが「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会」を組織したことから、本センターは同協議会の設立発起人の一員として参画し、スポーツと宿泊・観光を組み合わせた新しいサービスや商品の開発等に関する検討を行った。

(4) 施設の保守整備

場内アトラクションの法定点検・定期点検を実施したほか、電気、電話、ボイラー、水道、衛生、空調、防災等の各種設備については、専門業者と委託契約を締結して保守管理を行い、諸施設・設備の健全維持に努めるとともに、環境整備作業や小補修については、職員自らの手で行い、経費の節減を図った。

(5) その他

理事会・評議員会を始めとする諸会議の開催、規程の見直し、各種職員研修などの業務を必要に応じて行った。

1月には、専門講師を招いて接遇に関するマナー研修を行った。

なお、その詳細は(別表8) 諸会議開催内容一覧、(別表9) 職員研修内容一覧のとおりである。

(別表 1-1) 平成26年度 月別入場者

[単位：人]

| 区 分 | 平成25年度 | | | 平成26年度 | | | 増 減 | |
|------|---------|--------|------|---------|--------|------|---------|--------|
| | 人 数 | 割 合 | 営業日数 | 人 数 | 割 合 | 営業日数 | 人 数 | 前年比 |
| 4 月 | 13,463 | 8.7% | 27日 | 14,247 | 8.1% | 27日 | 784 | 105.8% |
| 5 月 | 23,987 | 15.5% | 27日 | 29,423 | 16.8% | 27日 | 5,436 | 122.7% |
| 6 月 | 9,155 | 5.9% | 26日 | 7,658 | 4.4% | 21日 | △ 1,497 | 83.6% |
| 7 月 | 11,546 | 7.5% | 28日 | 13,811 | 7.9% | 25日 | 2,265 | 119.6% |
| 8 月 | 30,867 | 19.9% | 31日 | 35,722 | 20.4% | 31日 | 4,855 | 115.7% |
| 9 月 | 8,531 | 5.5% | 26日 | 11,686 | 6.7% | 26日 | 3,155 | 137.0% |
| 10 月 | 8,322 | 5.4% | 26日 | 9,799 | 5.6% | 26日 | 1,477 | 117.7% |
| 11 月 | 8,667 | 5.6% | 26日 | 11,243 | 6.4% | 26日 | 2,576 | 129.7% |
| 12 月 | 8,376 | 5.4% | 24日 | 8,852 | 5.0% | 24日 | 476 | 105.7% |
| 1 月 | 9,650 | 6.2% | 23日 | 7,884 | 4.5% | 19日 | △ 1,766 | 81.7% |
| 2 月 | 1,780 | 1.1% | 17日 | 6,212 | 3.5% | 20日 | 4,432 | 349.0% |
| 3 月 | 20,599 | 13.3% | 29日 | 18,773 | 10.7% | 28日 | △ 1,826 | 91.1% |
| 合 計 | 154,943 | 100.0% | 310日 | 175,310 | 100.0% | 300日 | 20,367 | 113.1% |

- 平成25年度2月期は記録的な降雪によって、本センター営業日数は、一部屋内施設で17日間、その他自転車関連施設を中心とする屋外施設では2日～9日間のみ営業であった。
- 平成26年5月31日付「サイクル温泉ゆーサロン」の廃業に伴い、上記月別入場者数には同施設の入場者数は含まない。

(参 考)

| | | | | | | | | |
|--------------------|--------|---|------|--------|---|-----|----------|-------|
| サイクル温泉 ゆーサロン入場者 | 67,148 | — | 310日 | 11,381 | — | 54日 | △ 55,767 | 16.9% |
|--------------------|--------|---|------|--------|---|-----|----------|-------|

(別表1-2) 平成26年度 入場者内訳

[単位:人]

| 区 分 | | | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 増 減 | |
|-----------------------|------------------|------|---------|--------|---------|--------|---------|---------|--------|
| | | | | 人 数 | 割 合 | 人 数 | 割 合 | 人 数 | 前年比 |
| 有 料 入 場 者 | 入 場 券 | 個 人 | おとな | 22,413 | 17.5% | 21,572 | 14.3% | △ 841 | 96.2% |
| | | | こども | 5,961 | 4.7% | 5,473 | 3.6% | △ 488 | 91.8% |
| | | 団 体 | おとな | 22,424 | 17.5% | 33,061 | 22.0% | 10,637 | 147.4% |
| | | | こども | 7,089 | 5.5% | 8,431 | 5.6% | 1,342 | 118.9% |
| | | 計 | | | 57,887 | 45.2% | 68,537 | 45.5% | 10,650 |
| | とくとく パス | 個 人 | おとな | 6,582 | 5.1% | 6,887 | 4.6% | 305 | 104.6% |
| | | | こども | 5,654 | 4.4% | 5,835 | 3.9% | 181 | 103.2% |
| | | 団 体 | おとな | 17,339 | 13.5% | 24,135 | 16.0% | 6,796 | 139.2% |
| | | | こども | 15,343 | 12.0% | 19,209 | 12.8% | 3,866 | 125.2% |
| | | 計 | | | 44,918 | 35.0% | 56,066 | 37.3% | 11,148 |
| 入 場 者 | セ ッ ト 券 | こども会 | おとな | 8 | 0.0% | 12 | 0.0% | 4 | 150.0% |
| | | | こども | 13 | 0.0% | 20 | 0.0% | 7 | 153.8% |
| | ス ク ー ル | おとな | 440 | 0.3% | 841 | 0.6% | 401 | 191.1% | |
| | | こども | 182 | 0.2% | 282 | 0.2% | 100 | 154.9% | |
| | 特 別 | おとな | 7,744 | 6.0% | 5,400 | 3.6% | △ 2,344 | 69.7% | |
| | | こども | 3,360 | 2.6% | 2,067 | 1.4% | △ 1,293 | 61.5% | |
| | 身 障 者 | | | 428 | 0.3% | 766 | 0.5% | 338 | 179.0% |
| | 計 | | | 12,175 | 9.4% | 9,388 | 6.3% | △ 2,787 | 77.1% |
| | 大会・合宿等 | | | 8,755 | 6.8% | 11,869 | 7.9% | 3,114 | 135.6% |
| | パターゴルフコース利用者 | | | 4,454 | 3.5% | 4,622 | 3.1% | 168 | 103.8% |
| 一般有料入場者計 | | | 128,189 | 99.9% | 150,482 | 100.1% | 22,293 | 117.4% | |
| その他有料入場者 | | | 21,309 | 14.3% | 18,758 | 11.1% | △ 2,551 | 88.0% | |
| 有料入場者合計 | | | 149,498 | 100.0% | 169,240 | 100.0% | 19,742 | 113.2% | |
| 無 料 入 場 者 | | | 5,445 | 3.5% | 6,070 | 3.5% | 625 | 111.5% | |
| 入 場 者 総 合 計 | | | 154,943 | 100.0% | 175,310 | 100.0% | 20,367 | 113.1% | |
| 営 業 日 数 (日) | | | 310 | 100.0% | 300 | 100.0% | △ 10 | 96.8% | |
| 営業日における雨天日数(日) | | | 66 | 21.3% | 64 | 21.3% | △ 2 | 97.0% | |

1. 平成26年5月31日付「サイクル温泉ゆーサロン」の廃業に伴い、上記入場形態別入場者数には同施設の入場者数は含まない。

(参 考)

| | | | | | | |
|----------------|--------|---|--------|---|----------|-------|
| サイクル温泉ゆーサロン入場者 | 67,148 | — | 11,381 | — | △ 55,767 | 16.9% |
|----------------|--------|---|--------|---|----------|-------|

(別表 1-3) 平成26年度 施設利用者内訳

| 区 分 | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 増 減 | |
|--------------------------|---------|--------|---------|--------|----------|---------|
| | 人 数 | 利用率 | 人 数 | 利用率 | 人 数 | 前年比 |
| 5キロサーキット | 12,289 | 7.9% | 17,027 | 9.7% | 4,738 | 138.6% |
| ファミリーサーキット | 54,904 | 35.4% | 58,870 | 33.6% | 3,966 | 107.2% |
| MTBコース | 7,791 | 5.0% | 9,803 | 5.6% | 2,012 | 125.8% |
| BMXコース | 621 | 0.4% | 1,179 | 0.7% | 558 | 189.9% |
| STRIDER | 275 | 0.2% | 274 | 0.2% | △ 1 | 99.6% |
| 伊豆ペドローム | 104 | 0.1% | 52 | 0.0% | △ 52 | 50.0% |
| サイクルコースター | 82,260 | 53.1% | 96,326 | 54.9% | 14,066 | 117.1% |
| おもしろ自転車 | 89,406 | 57.7% | 97,771 | 55.8% | 8,365 | 109.4% |
| サイクルゴーランド | 45,186 | 29.2% | 54,320 | 31.0% | 9,134 | 120.2% |
| サイクルUFO | 43,751 | 28.2% | 50,438 | 28.8% | 6,687 | 115.3% |
| サイクルモノレール | 46,727 | 30.2% | 52,443 | 29.9% | 5,716 | 112.2% |
| 水上自転車 | 44,961 | 29.0% | 52,433 | 29.9% | 7,472 | 116.6% |
| 体育館・流水プール | 15,532 | 10.0% | 10,509 | 6.0% | △ 5,023 | 67.7% |
| スカイローラー | 78,315 | 50.5% | 88,193 | 50.3% | 9,878 | 112.6% |
| アスレチック迷路 キャッスルアドベンチャー | 65,715 | 42.4% | 63,997 | 36.5% | △ 1,718 | 97.4% |
| 室内フットサル場 | 12,374 | 8.0% | 10,966 | 6.3% | △ 1,408 | 88.6% |
| パターゴルフコース | 6,115 | 3.9% | 6,071 | 3.5% | △ 44 | 99.3% |
| コイン施設 | 245 | 0.2% | 410 | 0.2% | 165 | 167.3% |
| DAYキャンプ場 元気の森 | 3,505 | 2.3% | 4,031 | 2.3% | 526 | 115.0% |
| ウォーターバルーン | 5,609 | 3.6% | 6,216 | 3.5% | 607 | 110.8% |
| ふわふわドーム | 2,399 | 1.5% | 21,252 | 12.1% | 18,853 | 885.9% |
| こども広場 キッズアイランド | 210 | 0.1% | 2,109 | 1.2% | 1,899 | 1004.3% |
| ジャングルジム FUJISAN | 4,350 | 2.8% | 39,056 | 22.3% | 34,706 | 897.8% |
| サイクル電車 | 24,872 | 16.1% | 0 | 0.0% | △ 24,872 | 0.0% |
| スペースタワーズ | 30,345 | 19.6% | 0 | 0.0% | △ 30,345 | 0.0% |
| 合 計 | 677,861 | 437.5% | 743,746 | 424.2% | 65,885 | 109.7% |

- 平成26年度における体育館・流水プールの有料営業期間は、7月19日から8月31日まで
(平成25年度は、7月13日から9月1日まで)
- ウォーターバルーンは、平成25年7月13日から営業を開始(土日祝日及び特別営業期間のみ)
- ふわふわドーム、こども広場 キッズアイランド及びジャングルジム FUJISANは、平成26年3月21日から
営業を開始
- サイクル電車、スペースタワーズは、平成26年1月13日をもって廃止。
- サイクルコースターは、改修工事のため平成26年2月17日から3月3日まで営業を中止
- サイクルモノレールは、リニューアル工事のため平成26年1月14日から3月14日まで営業を中止
(積雪による営業中止)
- 5キロサーキット、MTBコース、BMXコース:平成26年2月8日から3月5日まで営業を中止
- 水上自転車、ファミリーサーキット:平成26年2月8日から2月28日まで営業を中止
- その他施設:平成26年2月8日から11日、2月14日から21日まで営業を中止

(別表2) 自転車競技大会一覧

| 開催月 | 主な大会 | 主催団体 | 参加選手 | |
|--------|----------------------|---|-----------------------|------|
| 主 催 | 4月 | CSCクリテリウムシリーズ 第1戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 69人 |
| | 4月 | Challenge The Izu Velodrome 第1戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 56人 |
| | 4月 | BMXチャッキーカップ | 日本サイクルスポーツセンター | 17人 |
| | 5月 | CSCクリテリウムシリーズ 第2戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 72人 |
| | 5月 | Challenge The Izu Velodrome 第2戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 25人 |
| | 6月 | 第1回CSC2時間耐久MTBレース | 日本サイクルスポーツセンター | 88人 |
| | 6月 | Challenge The Izu Velodrome 第3戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 48人 |
| | 7月 | 第17回CSC5時間耐久チームサイクルロードレース大会 | 日本サイクルスポーツセンター | 363人 |
| | 7月 | CSCトラック自転車競技大会2014夏(KID'S~マスターズ) | 日本サイクルスポーツセンター | 82人 |
| | 9月 | CSCクリテリウムシリーズ 第4戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 93人 |
| | 9月 | Challenge The Izu Velodrome 第4戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 50人 |
| | 10月 | CSCクリテリウムシリーズ 第5戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 74人 |
| | 10月 | CSCトラック自転車競技大会2014秋 | 日本サイクルスポーツセンター | 68人 |
| | 10月 | 2014BMX OPEN チャッキーカップ秋 | 日本サイクルスポーツセンター | 36人 |
| | 11月 | Challenge The Izu Velodrome 第5戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 42人 |
| | 11月 | A&F MTB CUP 24h in サイクルスポーツセンター | 日本サイクルスポーツセンター | 298人 |
| | 1月 | CSCクリテリウムシリーズ 第8戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 75人 |
| | 3月 | CSCクリテリウムシリーズ 最終戦 | 日本サイクルスポーツセンター | 96人 |
| 協 力 | 4月 | 全日本学生トラックレースシリーズ第1戦 | 日本学生自転車競技連盟 | 131人 |
| | 4月 | 第39回チャレンジサイクルロードレース大会 | 日本自転車競技連盟 | 680人 |
| | 5月 | 全日本学生トラックレースシリーズ第1戦 第15回修善寺女子オープントラック大会 | 日本学生自転車競技連盟 | 145人 |
| | 5月 | 全日本学生ロードレースシリーズ第2戦 第15回修善寺女子オープンロードレース大会 | 日本学生自転車競技連盟 | 220人 |
| | 5月 | 第17回ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ | 自転車月間推進協議会 | 85人 |
| | 6月 | JCRCシリーズ第5戦 | 日本サイクルレーシングクラブ協会 | 363人 |
| | 7月 | 第48回JBCF東日本ロードクラシック | 全日本実業団自転車競技連盟 | 474人 |
| | 7月 | 寛仁親王記念ワールドメモリアルグランプリ | サイクルスポーツをサポートするCSSシクロ | 123人 |
| | 7月 | 第55回全日本学生選手権トラック自転車競技大会 | 日本学生自転車競技連盟 | 470人 |
| | 7月 | JAPAN TRACK CUP I・II | 日本自転車競技連盟 | 330人 |
| | 7月 | 第27回全日本MTB選手権大会 | 日本自転車競技連盟 | 530人 |
| | 8月 | 2014年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会 | 日本自転車競技連盟 | 224人 |
| | 8月 | 第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 | 日本学生自転車競技連盟 | 508人 |
| | 11月 | 2014伊豆BMX国際 | 日本自転車競技連盟 | 162人 |
| | 11月 | 2014全日本選手権自転車競技大会オムニウム・マスターズ | 日本自転車競技連盟 | 87人 |
| | 12月 | JCRCシリーズ最終戦 | 日本サイクルレーシングクラブ協会 | 123人 |
| | 12月 | 第5回5時間耐久東京車連 エンデューロ | 東京都自転車競技連盟 | 144人 |
| | 1月 | 2014ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第2戦 | 静岡県自転車競技連盟 | 80人 |
| | 2月 | 2014ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第3戦 | 静岡県自転車競技連盟 | 119人 |
| | 2月 | 2014ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第4戦 | 静岡県自転車競技連盟 | 109人 |
| 3月 | MTB 2015 CSC Classic | CSC Classic 実行委員会 | 175人 | |
| 3月 | JCRCシリーズ第1戦 | 日本サイクルレーシングクラブ協会 | 374人 | |

<主催大会>

18大会・1, 652人参加(5キロサーキット、MTBコース、伊豆ベロドロームほか)
 ※ CSCクリテリウムシリーズの第3戦(6月)、第6戦(11月)、第7戦(12月)は、雨天のため中止。
 ※前年度実績 18大会・1, 528人参加

<協力大会>

44大会・6, 785人参加(5キロサーキット、MTBコース、BMXコース、伊豆ベロドロームほか)
 ※前年度実績44大会・4, 609人

(別表3) 自転車スクール及び自転車キャンプ開催内容一覧

| 区名 | 内 容 | 参加人数 |
|-------------------------|--|------|
| MTBサマーキャンプ | 小学校から中学生までを対象にした2泊3日の体験キャンプ 1回開催(8月) 小学生5人(男3人、女2人)、中学生3人(男2人、女1人) | 8人 |
| トラックウインターキャンプ | 20歳以上のトラック競技愛好者を対象にした1泊2日の体験キャンプ 1回開催(12月) 男14人(21歳から60歳)、女1人(50歳) | 15人 |
| 子供のための トラックスプリングキャンプ | 小学校から中学生までを対象にした1泊2日の体験キャンプ 1回開催(3月) 小学生8人(男5人、女3人)、中学生4人(男2人、女2人) | 12人 |
| 女性のための 自転車教室 | 自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の教室 5回開催(第295回:5月～第300回:3月) ※第295回は最少催行人数に達しなかったため中止 | 37人 |
| 小学生のための 自転車教室(場内) | 自転車に乗れない小学生を対象にした日帰りの教室 5回開催(第89回:4月～第94回:3月) ※第93回は最少催行人数に達しなかったため中止 | 76人 |
| 小学生のための 自転車教室(場外) | 自転車に乗れない小学生を対象にした日帰りの教室 1回開催(10月) 立川競輪場(主催:立川市) | 30人 |

(別表4) イベント開催内容一覧

| | イベント名 | 開催日 | 主な内容 | |
|----------------|---|--|---|----------|
| 自転車普及イベント | ゴールデンウィーク サイクルカーニバル | 平成26年 5月 3日(土) ・同 5月 6日(火) | キャラクターショー(2種類) | 2日 |
| | ストライダー大会 | 平成26年 4月20日(日) ～同12月13日(土) | 2014FM IS CUP STRIDER Park 第2戦～最終戦 | 8日 684人 |
| | | 平成27年 3月 1日(日) | 第4回 STRIDER MiniMini チャッキーカップ | 1日 183人 |
| | 一輪車競技大会 ～共催～ | 平成26年 6月28日(土) | 第11回CSC3時間耐久一輪車レース大会 (チーム対抗) | 1日 308人 |
| | | 平成26年 9月21日(日) | 第2回静岡オープン駅伝大会 (チーム対抗) | 1日 196人 |
| | | 平成27年 1月 3日(土) | 第25回新春静岡県一輪車競技大会 (5kmマラソン) | 1日 134人 |
| | | 平成27年 2月15日(日) | 第3回静岡オープン駅伝大会 (チーム対抗) | 1日 213人 |
| | 自転車検定 | 平成26年10月 5日(日) ～同11月30日(日) | CSCオリジナル自転車検定 | 17E 164人 |
| | 夏のサイクルカーニバル | 平成26年 7月26日(土) ～同 8月17日(日) | ウルトラマン こども秘密基地 グッズ展示、ゲーム、握手会(2日間) | 23日 |
| | 秋のサイクルカーニバル | 平成26年10月12日(日) ～同10月13日(月) ・同11月 3日(月) | キャラクターショー(3種類) | 3日 |
| | 自転車・音楽イベント | 平成26年11月 2日(日) | DIRT PARTY (BMXと音楽によるコラボ) | 1日 70人 |
| | サイクリング大会 | 平成26年11月15日(土) | 第11回紅葉サイクリング (50km、30kmコース) | 1日 39人 |
| | 新春サイクルカーニバル | 平成27年 1月 1日(木) ～同 1月 4日(日) | 新春開運餅まき大会、運ためし抽選会 健康増進イベント(200mタイムアタック、カロチャレ) CSCオリジナル自転車検定 | 4日 |
| 春のサイクルカーニバル | 平成27年 3月28日(土) ～同 3月29日(日) | キャラクターショー(2種類) | 2日 | |
| 健康増進イベント | ウォーキング | 平成26年 4月29日(火) | 第17回CSC春の山菜採りウォーキング (5km、10kmコース) | 1日 121人 |
| | 体育の日イベント | 平成26年10月13日(月) | 体育の日「健康イベント」 固定ローラースピード測定、「カロチャレ」は雨天中止 | 1日 0人 |
| | マラソン大会 | 平成26年12月14日(日) | 第10回伊豆サンタマラソン | 1日 134人 |
| | フットサル大会 | 平成26年 6月21日(土) ～同 7月19日(土) | CSCフットサル夏季リーグ (会員4チームによるリーグ戦) | 5日 164人 |
| | | 平成26年10月 4日(土) | 1Dayナイトリーグ1st (会員及び一般6チームによるリーグ戦) | 1日 51人 |
| | | 平成26年11月22日(土) | 1Dayナイトリーグ2nd (会員及び一般6チームによるリーグ戦) | 1日 60人 |
| | | 平成27年 1月24日(土) | 1Dayナイトリーグ3rd (会員及び一般6チームによるリーグ戦) | 1日 65人 |
| 平成27年 2月22日(日) | CSC山のカップ ビギナーズ The 9th (会員及び一般8チームによるリーグ戦&トーナメント戦) | 1日 66人 | | |

(別表5) 自転車競技体験プログラム一覧

| 開催日 | 主な内容 |
|-----------------------------------|--|
| 平成26年 8月 4日(月) | 伊豆市立熊坂小学校 PTA家庭学級 1日 39人 (トラック、MTB及びBMX競技の各種体験プログラム) |
| 平成26年 8月18日(月) | 伊豆市教育委員会 ふるさと学級 1日 30人 (トラック、MTB及びBMX競技の各種体験プログラム) |
| 平成26年10月 1日(水) ～平成27年 2月18日(水) | 静岡県立伊豆総合高等学校体育科目授業 15日 185人 第1グループ(3年生) 14人(実習回数5回) 第2グループ(3年生) 18人(実習回数5回) 第3グループ(2年生) 7人(実習回数5回) (伊豆ペロドロームでのトラック競技実習) |

(別表6) 広報宣伝活動内容一覧

| 媒体名 | | 内 容 | | |
|--------------------------------|---------|----------------------------|------------|----------|
| 広 告 | テレビ | 静岡朝日テレビ、東京MX | 15秒スポット | 114本 |
| | 新聞 | 静岡新聞、伊豆日日新聞、報知新聞 | | 3誌 8回 |
| | 雑誌 | 読売ファミリーサークル、JAFメイト | | 2誌 3回 |
| | 車内吊 | 新東海バス | 2枚/車両・1期7日 | 35車両 52期 |
| | 看板 | 伊豆箱根鉄道・駿豆線(修善寺駅構内看板) | | 1基 12ヵ月 |
| | | 伊東マリンタウン(観光案内看板)ほか | | 2基 12ヵ月 |
| | インターネット | 伊豆市ホームページ | | 12ヵ月 |
| | | 合宿ガイド.Comほか | | 2件 2回 |
| | その他 | ハッピークーポンほか | | 3件 5回 |
| | | アットメール(携帯ホームページ付メール配信システム) | | 12ヵ月 |
| 大会協賛広告(第45回JBCF東日本トラック・レース ほか) | | 6回 | | |
| パ ブ リ シ テ イ | テレビ | 静岡朝日テレビ、東京MX、NHK、日本テレビほか | | 8局 13回 |
| | ラジオ | SBSラジオ、FM IZU | | 2局 2回 |
| | 新聞 | 静岡新聞、伊豆日日新聞、読売新聞、日刊スポーツほか | | 11紙 69回 |
| | 雑誌 | るるぶ伊豆 | | 1誌 1回 |
| | インターネット | まっふるガイド、Wlkerplus | | 2件 2回 |

(別表7) 販売促進活動内容一覧

(単位:人)

| 区分 | 営業予約実績 | | 来場実績 | | | |
|-----|--------|--------|-------|--------|-------|--------|
| | 件数 | 人数 | 一般入場 | サイテル宿泊 | | |
| | | | | スポーツ合宿 | 営業外 | 計 |
| 4月 | 6 | 802 | 100 | 56 | 364 | 420 |
| 5月 | 8 | 1,025 | 815 | 559 | 903 | 1,462 |
| 6月 | 7 | 1,195 | 80 | 98 | 137 | 235 |
| 7月 | 6 | 943 | 1,369 | 995 | 983 | 1,978 |
| 8月 | 7 | 600 | 2,784 | 2,174 | 847 | 3,021 |
| 9月 | 4 | 746 | 1,260 | 807 | 229 | 1,036 |
| 10月 | 5 | 780 | 322 | 82 | 589 | 671 |
| 11月 | 7 | 726 | 430 | 242 | 653 | 895 |
| 12月 | 8 | 771 | 645 | 361 | 946 | 1,307 |
| 1月 | 7 | 748 | 25 | 0 | 349 | 349 |
| 2月 | 8 | 1,187 | 569 | 423 | 433 | 856 |
| 3月 | 9 | 759 | 665 | 376 | 627 | 1,003 |
| 合計 | 82 | 10,282 | 9,064 | 6,173 | 7,060 | 13,233 |
| 前年度 | 77 | 9,993 | 9,383 | 7,568 | 5,658 | 13,226 |
| 増減 | 5 | 289 | △319 | △1,395 | 1,402 | 7 |

(別表8) 諸会議開催内容一覧

| 会議名 | 開催内容 |
|------------------|--|
| 理事 事 会 | <p>第9回理事会（平成26年5月28日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成25年度事業報告について （議案第2号）平成25年度決算報告について （議案第3号）平成25年度の公益目的支出計画実施報告について （議案第4号）第7回評議員会の招集について （報告事項1）平成26年度公益振興補助事業の補助金交付内定について （職務執行報告） 今期GWの入場者の状況について 施設のリニューアル事業の評価について 合理化の推進(不採算施設の閉鎖)について</p> |
| | <p>第10回理事会（平成26年6月17日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）会長及び業務執行理事の選定について （議案第2号）役員報酬の支給額について （議案第3号）参与の選任について （職務執行報告） 今後の業務の執行体制について 合理化の諸施策と検討体制について</p> |
| | <p>第11回理事会（平成27年3月12日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成27年度事業計画について （議案第2号）平成27年度収支予算について （議案第3号）第8回評議員会の招集について （職務執行報告） 今期の入場者の動向と年度末の見通しについて 合理化の推進(役員退職金規程の改正手続き、職員退職金規程改正に向けた組合との協議)について 基本設備(汚水処理場等)の大規模改修への対応方針について</p> |
| 評 議 員 会 | <p>第7回評議員会（平成26年6月17日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成25年度決算財務諸表について （貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録） （議案第2号）理事及び監事の選任について(任期満了に伴う改選) （議案第3号）評議員の補充選任について （報告事項1）平成25年度事業報告について(事業報告書及び附属明細書) （報告事項2）平成25年度公益目的支出計画実施報告について （報告事項3）平成26年度公益振興補助事業の補助金交付内定について</p> |

| 会議名 | 開 催 内 容 |
|-------|---|
| 評議員会 | 第8回評議員会（平成27年3月30日開催、東京） （議案第1号）評議員の補充選任について （議案第2号）役員退職金規程の改正について （報告事項1）平成27年度事業計画について （報告事項2）平成27年度収支予算について |
| 常勤役員会 | 第1回常勤役員会（平成26年5月19日） （議案第1号）平成25年度事業報告について （議案第2号）平成25年度決算報告について |
| | 第2回常勤役員会（平成26年9月19日） （議案第1号）平成27年度競輪補助事業への要望について |
| | 第3回常勤役員会（平成26年10月21日） （議案第1号）平成27年度の営業予定について |
| | 第4回常勤役員会（平成26年12月17日） （議案第1号）平成27年度の勤務計画について |
| | 第5回常勤役員会（平成27年2月18日） （議案第1号）平成27年度事業計画・予算編成の骨子について （議案第2号）平成27年3月の理事会及び評議員会について |
| | 第6回常勤役員会（平成27年3月6日） （議案第1号）平成27年度事業計画について （議案第2号）平成27年度収支予算について |
| その他 | 役員懇談会（6回開催：平成26年4月～平成27年3月） |
| | 管理職会議（15回開催：平成26年4月～平成27年3月） |
| | 営業施設の安全対策委員会（7回開催：平成26年4月～平成27年3月） |
| | 防火管理委員会（4回開催：平成26年6月、8月、11月、平成27年1月） |
| | 労務運営委員会（3回開催：平成26年6月、12月、平成27年3月） |
| | 日本競輪学校との定例連絡会（12回開催：平成26年4月～平成27年3月） |

(別表9) 職員研修内容一覧

| 研 修 名 | | 回 数 | 参 加 者 |
|---|--------------------------------|-----|-------------------------|
| 研 資 質 向 修 上 | 全体研修(1月) ・接遇ビジネスマナーセミナー | 1回 | 職員(34名) |
| 資 格 取 得 | トレーニング指導者(10月、3月) | 1回 | 競技振興課長・担当者(計2名) |
| | 日本マウンテンバイク協会公認インストラクター(6月、11月) | 1回 | 普及事業係担当者(1名) |
| | 日本自転車競技連盟公認MTB3級審判員(3月) | 1回 | 競技振興係長 |
| | 防火管理者資格取得講習会(2月) | 1回 | 競技振興部次長 |
| 一 般 研 修 会 ・ 講 習 会 | 遊戯施設の運行管理者・運転者等講習会(4月) | 1回 | 普及事業係長(計2名) |
| | 算定基礎届事務講習会並びに健康セミナー(6月) | 1回 | 総務係担当者(1名) |
| | 健康運動指導士「資格更新講習会」(3月) | 1回 | 競技振興課長 |
| | 健康運動指導士「必修講座」(8月) | 1回 | 競技振興課長 |
| | 救命講習会～AED業務従事者講習～(11月) | 1回 | 職員(計3名) |
| | 安全運転管理者法定講習会(7月) | 1回 | 総務部長 |
| | 非正規社員をめぐる法律実務(12月) | 1回 | 常務理事(1名) |
| | 特殊建築物等定期報告調査・検査資格者業務講習会(7月) | 1回 | 販売事業部次長 |
| | 第1回競技別NTC合同ミーティング(11月) | 1回 | 競技振興課長 |
| | ナショナルトレーニングセンターセミナー(3月) | 1回 | 競技振興課長、同担当者(計2名) |
| | 第2回競技別NTC合同ミーティング(3月) | 1回 | 競技振興課長、同担当者(計2名) |
| 派 講 遣 師 | 伊豆市 市民健康講座「健康づくりのための運動実践」(1月) | 1回 | 競技振興係担当者(1名) |
| 各 種 訓 練 | 地震総合訓練(9月、1月) | 2回 | 職員・保守管理業者(9月38名、1月39名) |
| | 消防総合訓練(7月、12月) | 2回 | 職員・保守管理業者(7月40名、12月37名) |
| | 利用者救助訓練 サイクルコースター(2月) | 1回 | 普及事業課(6名) |
| | サイクルモノレール(7月) | 1回 | 普及事業課(10名) |
| | サイクルUFO(7月) | 1回 | 普及事業課(10名) |